

着々と進む

中央保育園建設工事

七月三十日地鎮祭をあげた中央保育園新築工事が順調に進捗しています。コンクリートの流しこみも終り早い箇所から型枠を取りはずしてあります。屋内遊戯室は十月下旬よりサンのほめこみが始まりました。来年三月には素晴らしい保育園が誕生いたします。



ただ今 家屋調査実施中

昨年から今年にかけて、家をとりこわした場合は新築された家屋の評価のため、税務課では、家屋の調査を実施しています。家を新築、改築された方は十一月中に係員が出向きますので、調査にご協力をお願いします。

年金をもっとふやす方法

あなたも附加年金に 加入しませんか

附加年金とは、定額分の保険料九〇〇円と一緒に附加保険料四〇〇円を納めるものと、附加保険料を納めた月数に二〇〇円を乗じた額があなたの年金に計算され、あなたの年金に計算され、五〇〇円が支給されます。

きょうの健康 あすの年金

きょうの健康、あすの年金。時まで社会保険庁提供のデータと題して新潟総合テレビレディ放送があります。一般では十五分番組で毎週土曜日の午前八時四十五分より九時十五分まで放送されます。

日	時間	内容
11/9 (土)	午前8:45	年金受給者のために
11/16 (土)	午前8:45	わたしたちと国民年金
11/23 (土)	午前8:45	船員保険の福祉施設
11/30 (土)	午前8:45	厚生年金のしくみ

サラリーマンと税金

サラリーマンは給料やボーナスから税金を引かれて、税金についてよく知らないという方も案外多いようです。そこでサラリーマンの給与にかかる所得税について、そのあらましを説明します。

- 所得と税金の計算
 - 所得は原則として一年間の所得の合計額から、配偶者控除額や扶養控除額などの所得控除額を差し引いた残額に税率を適用して算出します。
 - 所得とは、所得という収入は収入ではなく、一年間に支給された給料やボーナスの収入金額から給与所得控除額を差し引いた残りが所得となります。
- 所得控除額とは
 - 所得税は、納税者の個人的な事情に応じて税の負担能力が異なることに着目して、課税所得の計算上各種の所得控除を認めています。
 - この所得控除には、医療費控除、社会保険料控除、生命保険料控除、配偶者控除、扶養控除、基礎控除など十四種類の控除があります。このうち配偶者控除と扶養控除について説明しましょう。
 - ① 配偶者控除
 - 所得者に配偶者がいるときは、一三万二千五百円を控除します。
 - ② 扶養控除
 - 所得者に扶養親族があるときは、扶養親族一人につき、二万円(配偶者がない人の第一目目の扶養親族は二万五千円)、老人扶養親族(七〇才以上の人)は一人につき二万五千円、五万円をそれぞれ所得金額から控除できます。
 - ただし、扶養親族に一定額以上の所得があるときは控除を受けられません。
 - ③ 税率
 - 所得税額は、所得金額から所得控除額を差し引いた残額に税率をかけて計算するわけですが、この税率は、四〇万円以下の金額に対する一〇%の税率を最低とし、八千円を超える金額に対する七五%までの超過累進税率になっています。

大河津橋の通行についてお願い

一般国道一六号分水町五千石地先、大河津橋が昨今の交通量の増加、とりわけ重車量の通行によって、橋の老朽化に拍車をかけている現状です。道路管理者、所轄警察署としても橋の安全と円滑な交通をはかるため、パトロール、点検、修理等と努力を続けています。

節約運動で 小中学生の作文募集

今年の村の実行目標である『ものを節約しよう』運動の一環として村内小中学生の作文募集が行なわれます。これは、『私たちの生活の中にはこんなムダがある』『ものを大切にするために私はこうしている』というテーマをきっかけとして、真な子供たちの目にうつっている生活の記録を通して、村民全体の『ものを大切に』『ムダをなくす運動』に役立てたいと思っています。

新潟県勤労青年 国内研修に参加して

中村 盛夫(高畑)



この度、村教育委員会の推せんを受け、山梨県の青少年団体の研修に参加して、県内各地から職業も違う(内女子五名)の研修生が参加しました。期間は、九月二十九日(土)から十月六日までの七日八日の平均六十パーセントの長期研修です。二十一日午後一時に、県立青少年研修センターに集合し、研修式を行い、センターで一泊しました。私たちは、山梨県に着くまでのわずかな間で研修生同士の親睦をはかり、チームワークを強めました。研修地は甲府市の牧丘町でした。牧丘町の青年宅で各自二泊三日の民泊研修をしました。牧丘町は人口約八千人、農業中心の町で、主な農産物は、養蚕、コンニャク、果樹の集約農業で、一戸当りの耕地面積は、平均六十パーセントの長期研修です。

県内少年剣道錬成大会で 山田 敏司君(和小四年) 堂々第二位



山田 敏司君(和小四年) 堂々第二位

持たせていることです。ご理解を得られるよう頑張りの研修を通じその成果を、つきり知ることができました。運営は、その日、その場所によって、すべて、役割分担され、それぞれが実によく役割をこなして、いきました。それがリーダーになった。だが、リーダーになっても活動できる層の厚さを感じました。私が、この研修で得たことは、青年活動を通して、喜びを味わい、同じ悩みを持つ多くの仲間ができたことです。そして、青年活動とは、地域住民との相互理解と協力がなければ、発展しないと思います。私も、私自身岩室村の青年の一員として活動を通して、村民の

中学生の自転車通学に 協力をお願いします

岩室中学校では現在学校を中心として二層以上の部落より通学する生徒に自転車通学を許可する方針をとっています。最近交通事故が頻発し、自転車通学は危険が多く、また中学生の乗る自転車は子供用の卒業後家庭の人達が供出出来ないような華奢な自転車も危険な多いものを用いており、入学時の出費がかさんで、いるのが現状です。岩室村では節約運動と安全対策の一環として村内各小学校と協力を得ながら、P.T.A.や自転車業者達の理解と支援をいただき、目下検査を改善する方針です。一、米春(昭50年)の新人生から普通車を使用させ

たばこは村内で買いませんよう。